

## とうきょう すくわくプログラム活動報告書

所在地	台東区西浅草 3-19-3 スターライト浅草 1F
施設名	ミアヘルサ保育園ひびき浅草

### 1. 活動のテーマ

<テーマ>

生き物

<テーマの設定理由>

戸外活動の際、アリやダンゴムシ、蝶を見つけると、興味深く動きを目で追う姿が見られ、生き物の特性や成長過程についてさらに興味関心を深めたいと思ったため。

### 2. 活動スケジュール

2025年6月より開始。 戸外活動でアリやダンゴムシ、蝶を観察する。そこからクラスで図鑑や絵本を通して生き物の生態や成長について触れる。蝶への興味関心から青虫の育成を開始し、成長を見守る過程での発見や成長の様子をドキュメント化する。

### 3. 活動のために準備した素材や道具、環境の設定

絵本や図鑑で生き物を見つける。青虫が好んで食べるレモンの葉を収穫、青虫の卵を観察するためにレモンの木を準備。(プランター、肥料、ジョウロ、遮光ネット)  
かごを準備し室内で飼育し毎日観察をする。

#### 4. 探究活動の実践

##### <活動の内容>

- 6月 戸外で虫探しをする
- 7月 青虫の育成を開始
- 8月 さなぎから成虫に成長した蝶々を観察、自然に返す

##### <活動中の子供の姿・声、子供同士や保育者との関わり>

0歳児 保育者が虫かごに入った青虫を児の近くに置くと、興味を持って虫かごに近づき、じっと見つめる姿が見られた。保育者が「青虫さん動いてるね」「葉っぱ食べてるね」と優しく声をかけると、指をさしたり体を乗り出しながら一緒に観察を楽しむ姿が見られた。

1歳児 虫かごの中の青虫に気が付くと「むし!」「いた」と指をさして知らせ、ケースをのぞき込みながら興味深く観察していた。「はらぺこあおむし!」と絵本と関連させた発言も見られた。初めて見る青虫を怖がり保育者に不安を知らせる児もいたが、無理せず遠くから眺めたり毎日観察する時間を設けることで少しずつ慣れ、楽しんで観察できるようになった。保育者が「葉っぱのご飯食べてるね」「動いてるね」と声をかけることで「おいしい〜?」「かわいいね」と青虫の動きに気づき、さらに親しみや関心を持つ姿が見られた。

##### 2歳児

青虫が入っているケースを見せると、「あおむしだ!」「みせて!」と言いながら興味を持って集まり、ケースを覗きこんで観察していた。青虫が葉っぱを食べる様子を見ると「いっぱい食べて大きくなってね」「うごいてるよ!」など様子に応じた言葉を発して反応する姿もあった。触れてみたい児、少し距離を取って見る児など、それぞれのかかわり方で興味を示していた。また、「ごはんをあげたい」という発言から、育成していたレモンの木から葉っぱを収穫し一緒にかごの中に入れて飼育に参加することで愛着がわき世話を楽しむ姿が見られた。また、青虫の大きさや模様の変化、さなぎから蝶になる形態の変化を毎日の観察の中で感じ、成長段階を知ることを楽しむ姿が見られた。

## 5. 振り返り

### <振り返りによって得た先生の気づき>

青虫の飼育を通して、子どもたちは動きや食べる様子に興味を持ち、指差しや言葉で知らせる姿が見られた。保育者の声掛けによって気づきを共有することが出来たが、振り返る中で、子ども一人ひとりの発見や思いを十分に引き出せていない場面もあったことに気づいた。今後は、子どもの言葉やしぐさを丁寧に受け止め、やり取りを広げていく関りを意識していきたい。

